



の が き 野垣あきこ

子ども・暮らし・平和



2024年11月6日 No.201 連絡先 090-9293-8710 ご相談もどうぞ!

区民の声を区政にいかす

区民参加型予算 来年の予算編成に向け投票を実施中

区民参加型予算 投票事業一覧

No.	事業名（詳細は区 HP か閲覧場所で）
1	防災井戸 知ろう、使おう、遊ぼう
2	区立公園で太陽光発電と蓄電をしよう
3	防災運動会を開催しよう
4	LED ソーラー街路灯給電スポットを駅前広場に設置しよう
5	エレベーター用備蓄品を設置し、地域の見守りを強化しよう
6	演劇を通して防災について考えよう
7	水害対策にグリーンインフラを活用しよう
8	防災デイキャンプを開催しよう
9	防災コミュニティをつくって地域別のタイムラインをつくろう
10	防災士資格試験料等の助成制度をつくろう

- ◆投票期間 9/15~11/11 まで
- ◆投票資格 杉並区にお住まいの方

以前にもお知らせした区民参加型予算について、区民からの提案が寄せられました。11日まで、みなさんの投票を受け付けています。

「防災×○○」に多彩なアイデアが寄せられました

区民参加型予算とは、区が募集するテーマに基づいて区民が予算の使い道を提案し、その中から区民が投票した結果を区が次年度予算案に反映するという取り組みです。

昨年度は森林環境譲与税基金の使い道について、区民から57件の提案がありました。提案のうち、区で内容を確認し区民と作り上げた10事業について、6991票の区民からの投票があり、今年度予算で公園に

木製遊具やかまどベンチが設置されました。また、昨年の区民アンケートでも85%が「良い取組だと思う」と評価しています。

今年度の提案と投票

今年度は、防災・減災分野の取り組みについて区民等から83件の提案がありました。そのうち、区で内容を確認し作り上げた左記の10事業について、区民による「投票」を実施しています。事業の詳細は区役所（財政課、区政資料室、1階ロビー）、各区



▲インターネット



▼投票用紙

杉並区 政策経営部 財政課
杉並区阿佐谷南1-15-1
〒166-8570

から直接入力ができます。郵送の場合は、閲覧場所にある投票用紙を左記まで送ってください。投票用紙は左記の下段の二次元コードからもダウンロードできます。

投票はネットか郵送で

インターネットで投票する場合は、左記の上の二次元コードから直接入力ができます。

民事務所、各図書館で閲覧もできます。投票用紙もあります。



区民参加型予算事業

みなさんの投票がカタチに!

防災×○○

投票受付中

天沼1・2丁目に在住・通行されるみなさんへ

第二桃園川幹線の枝線工事が11月15日から始まります



10月24日と26日、東京都下水道局はウエルファームで「天沼一・二丁目付近枝線工事に関する説明会」を開催しました。

天沼東公園・天沼熊野神社付近の通行にご注意を！

東京都は浸水対策として、下水道への雨水流入量をこれまでの約5割から約8割に引き上げるとしています。そのため、今年2月から暫定的に貯留を開始している第二桃園川幹線の枝線工事を天沼地域で行います。

天沼東公園の使用について

天沼東公園は取水管を作る推進工事（発進立坑）の用地となるため、工事中は西側の防災倉庫の場所を除いて、令和9年月中旬まで使用できなくなります。工事期間中は高さ約3mの仮囲いが建てられます。今ある樹木、遊具、トイレは撤去し、工事完了時に復旧します。防火倉庫及び2つの防火水槽のうち1つ（40立米の方）は工事中も使用できるとのことでした。

工事に関する問い合わせ
東京都下水道局 第二基幹施設再構築事務所 工事第二課
03-3366-6980（担当：菅原、後藤）
株式会社ノバック 東京本店（施行者）
03-5335-7478（現場代理人：村上）

道路の交通規制があります

道路は左記の矢印部分が通行止めになります。作業時間は原則9時～17時で、土日と年末年始は休業日です。工事中は現場の交通誘導員の指示に従って迂回をお願いします。

家屋調査を実施します

家屋調査は11月中旬から始まります。調査対象のお宅には今月中旬にお知らせが入ります。お問合せは調査会社（中央建鉄 03・3232・7161）までお願いします。工事に関するお問合せは上記の下水道局か施行者まで。

弁護士による法律相談

毎週 水・金曜 2～4時半

会場 日本共産党杉並地区委員会
高円寺南3-30-12

電話 03-3314-5551

※予約は必要ありません。当日現地です。

あきへの部屋

環境計画（UNEP）は、現状のままなら、産業革命前からの気温上昇が今世紀中に最大3・1度に達するとの報告書を発表。もはや個人レベルではどうにもできず、国の責任が大きく問われます。石炭火発へのアンモニア混焼など、効果が疑わしい新技術の開発を支援しては間に合わない状況です。一方、再生エネルギーを廃棄するというとんでもない動きも。エネルギー政策の転換は待ったなしの課題です。

朝晩はだいぶ冷えるようになりましたが、みなさんは秋冬物への衣替えは済みましたか？

杉並区役所のクールビズは例年10月末まででしたが、今後は気候や温度等の職場環境に応じ、働きやすい服装での勤務を通年で実施するとしています。

無理にネクタイやジャケットを身に付け、必要以上に冷房等を使うことは温暖化対策の面からも避けなければなりません。

選挙中の10月24日に国連